

医療の質・安全学会誌 第14巻 第2号

目次

【論説】

日々の診療情報を用いた研究報告の質向上への提案 2

– RECORD-PE: The REporting of studies Conducted using Observational Routinely collected health Data statement for Pharmacoepidemiology (日常的に観察されて集められる健康情報を用いて行われる薬剤疫学研究の報告に関する声明) の日本語版について…………… 133

奥山 絢子¹⁾ 岩上 将夫^{2,3)} 友滝 愛⁴⁾ 伊藤 沙紀子⁵⁾ 田中 宏和⁶⁾

- 1) 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター院内がん登録分析室
- 2) 筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野
- 3) Department of Non-communicable Disease Epidemiology, London School of Hygiene and Tropical Medicine
- 4) 国立看護大学校人間科学情報学
- 5) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科高齢社会看護ケア開発学看護キャリアパスウェイ教育研究センター
- 6) 東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻公衆衛生学分野

【原著】

インセンティブスパイロメトリーによる呼吸訓練が開腹術後の呼吸機能の回復に及ぼす効果：ランダム化比較試験…………… 139

待機的な開腹術の術後に、インセンティブスパイロメトリーによる呼吸訓練を1セット10回、1日4セット行ったが、術後3日間の最大吸気量を通常プログラム群より有意に回復することはできなかった。

大木 裕子¹⁾ 小島 有子¹⁾ 山北 美穂¹⁾ 堂口 美由紀¹⁾ 山下 克也²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター看護部
- 2) 独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター外科

【原著】

患者相談体制の充実による効果に関する経年変化の検討

–患者サポート体制充実加算を取得した医療機関を対象とした2つの全国調査結果の比較–…………… 148

患者サポート体制充実加算に基づき設置された患者相談窓口における患者相談体制の充実に関する約3年の経年変化の検討で、クレーム再発防止の効果の向上が明らかとなった。

荒神 裕之¹⁾ 小田切 優子¹⁾ 橋本 廸生²⁾ 井上 茂¹⁾

- 1) 東京医科大学公衆衛生学分野
- 2) 公益財団法人日本医療機能評価機構

【報告】

群馬大学医学部附属病院における医療事故調査体制の改革…………… 155

問題となった医療事故調査を振り返るとともに、再構築した院内の医療事故調査体制について報告する。標準化した調査体制を明文化し、関係者の共通認識を図ることが重要である。

永井 弥生

オフィス 風の道
前群馬大学医学部附属病院医療の質・安全管理部長

【報告】

輸液ポンプ取り扱いスキルに関する職種間差異についての検討..... 164

多職種のメディカルスタッフを対象に「輸液ポンプ取り扱い講習会」を行った。結果、職種間で求められる輸液ポンプ取り扱いスキルやトレーニングが異なることが示された。

笹沼 直樹^{1,2)} 高橋 敬子^{2,3)} 阪上 雅史⁴⁾ 西 信一³⁾ 道免 和久⁵⁾
鈴木 敬一郎^{2,6)}

- 1) 兵庫医科大学病院リハビリテーション部
- 2) 兵庫医科大学医療人育成研修センター
- 3) 兵庫医科大学病院 医療安全管理部
- 4) 兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 5) 兵庫医科大学リハビリテーション医学教室
- 6) 兵庫医科大学学生化学講座

【世界サミット報告】

第4回 閣僚級世界患者安全サミット参加報告..... 170

後 信

九州大学病院 医療安全管理部／(公財)日本医療機能評価機構

【世界サミット報告】

第4回 閣僚級世界患者安全サミット付記..... 184

芳賀 繁

(株)社会安全研究所技術顧問／立教大学名誉教授

【海外論文の紹介】

変化する患者安全の諸概念：進捗状況の報告..... 186

小泉 俊三

医療の質・安全学会誌編集委員長

【学術集会報告】

第13回 医療の質・安全学会 学術集会 シンポジウム

医療機関への是正勧告，また医療機関からの是正報告から考える医療従事者の「働き方改革」について

－ 2017年度 都道府県立病院を対象とした調査結果から分かったこと－..... 189

井部 俊子 荒井 有美 奥 裕美 佐々木 菜名代 相馬 孝博
日隈 久美子 古川 裕之 保坂 隆

医療の質・安全の観点から見た業務体制と業務環境の在り方ワーキンググループ

【視点】

本邦における安全な血管確保とチーム医療の確立に向けて..... 197

本邦への Vascular access team の導入によって、医療の質が向上することが期待される。

徳嶺 譲芳^{1,2)} 安藤 秀明^{1,3)} 浅尾 高行^{1,4)}

- 1) 医療安全全国共同行動目標Ⅲ b 支援部会員
- 2) 杏林大学医学部 麻酔科学教室
- 3) 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 臨床看護講座
- 4) 群馬大学数理データ科学教育研究センター

【視点】

フォローシップを患者安全に活用するための戦略..... 202

患者安全の観点から、医療チーム形成に影響するフォローシップに焦点を当てる。批判的思考と能動的な行動ができる模範型フォロワーを増やすことが患者安全に必要である。

松村 由美

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

【学会・研究会案内】

第 14 回 医療の質・安全学会 学術集会..... 207

【資料】

資料 1 医療事故調査制度の現況報告（2019 年 3 月）..... 210

資料 2 日常的に観察されて集められる健康情報を用いて行われる薬剤疫学研究
の報告に関する声明（RECORD-PE）..... 212

資料 3 医療事故情報収集等事業第 56 回報告書【抜粋】..... 234

一般社団法人 医療の質・安全学会 定款 246

一般社団法人 医療の質・安全学会 入会のご案内 252

「医療の質・安全学会誌」投稿規程 255

「医療の質・安全学会誌」執筆要項 265

「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内 270

編集後記 272

